

Sarabetsu

広報さらべつ 8月号
Public Relations Sarabetsu 2015 vol. 635



直下型の大規模地震発生！

横転した車両から生存者を救助せよ！！

直下型地震が発生

その時、村は：
その時、あなたは：

7月27日、十勝南部を震源とするマグニチュード8.0、震度7の直下型地震が発生したという想定で、村や消防、消防団、自衛隊など10機関148名が参加し大規模な防災合同実践訓練が行われました。

9月1日は防災の日として定められており、今一度防災について考え、そして、ご家庭や身の周りのことについて再確認してみたいかがでしょうか？

防災合同実践訓練から見る村と消防の動き

地震の発生

役場において早急に災害対策本部を設置。消防と連携し、村内の広報・偵察パトロールを開始します。

被害の状況によっては、村長が自衛隊や警察救助隊などに応援要請を行います。この訓練では、ふるさと館に多数の村民がおり負傷者もいる想定のため、近くに救護所を設置することとしました。

※今回の訓練では実施しませんが、役場職員は勤務時間外であっても震度6弱以上のときには、全職員が直ちに登庁します。人命救助を最優先にしつつ被害状況の把握に努め、支援物資の調達や避難所の開設など、初動に必要な業務にあたることが「更別村地域防災計画」に定められています。

診療所の医師と連携

救急隊は、館内から運ばれてきた負傷者へトリアージ（災害などで同時に多数の患者が出た時に、手当ての緊急度に従って優先順をつけること）を行い、医師と連携してその場でできる限りの応急処置を行います。



火災の発生

地震により火災が発生。消防署員だけではなく、消防団員も協力し鎮火にあたります。また、別の地点からの出火も確認したため、他町村の消防からの協力で延焼拡大を防止します。

また、市街地において火災が発生した場合は、住民のバケツリレーによる消火作業も有効な初期消火活動の消防力となります。



救助事案の発生

高規格道路更別インター付近で車両の転覆事故が発生したと想定。ここでも消防署員と消防団員が協力し救助にあたります。署員は救助機材を使い乗員を助け出し、団員は後方支援を行います。救助後は、救急隊により負傷者を搬送しました。次に商店街周辺で家屋倒壊を想

避難準備

いざという時のために
備えを万全にしておきましょう

非常持出品

- 貴重品
- 非常用食料
- ラジオ
- ロープや缶切りなどの道具類
- 照明器具
- 救急・衛生用品
- 衣類

備蓄品

- 燃料
- 水
- 洗面道具
- 暖房具
- 食料品

家族構成によっては

- | | |
|---------|-----------|
| 幼児がいる場合 | 要介護者がいる場合 |
| ●紙おむつ | ●障がい者手帳 |
| ●哺乳瓶 | ●補聴器 |
| ●粉ミルク | ●常備薬 |

地震発生

地震が発生したらまずは身を守ってください
ケガや火災などの2次災害を出さないことが大切です

緊急地震速報の発令

緊急地震速報は震度5（弱）以上と推定される場合、テレビやラジオ、携帯電話などから流れます。速報が流れてから強い揺れが来るまでわずかな時間しかなく、震源によっては間に合わないことも考えられますが、まずは倒れやすい家具類から離れ、すぐにテーブルや机の下に潜るなど危険を回避してください。

1 まずは、身の安全を確保



家具の転倒などが無い安全な場所に避難します。十分な事前の対策を。

2 すばやく火の始末をする



揺れを感じたらすばやく行動。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。

3 戸を開けて出口の確保



震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。

4 慌てて外に飛び出さない



建物からの飛び出しはケガの元。落下物に注意して冷静な判断を。

5 避難は徒歩で



車での避難は危険なうえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。

避難所と避難場所

避難所とは 地震や水害などによる被害者を一時的に受け入れ保護するために開設する場所で、避難場所とは避難者が集合して様子を見ることができ、安全が確保できる場所のことを指しています。

避難所
社会福祉センター
上更別福祉館
各学校の体育館 など
避難場所
村運動広場
役場駐車場
各学校グラウンド など

防災無線

災害時の緊急連絡などに防災無線を利用しています
緊急放送は自動的に最大音量になります

住宅購入などをした場合

住宅購入したときや民間住宅などに入居した場合は、新規に受信機を1台貸し出します。ただし、住宅1軒につき1台です。印鑑をお持ちのうえ役場にお越しください。役場からおよそ3km以上離れた地域は、屋外アンテナを設置しなければ、受信機からの放送を聞くことができません。受信機と一緒に無償で貸し出しいたしますが、設置・配線工事が必要となりますので、事前に施工業者と打ち合わせのうえ配線をお願いします。ただし、工事にかかる費用は自己負担となりますのでご了承ください。

停電時に備えて

必ず乾電池（単2電池4本）を常備して下さい。電池が消耗した時は、中段のランプが赤く点滅しますので早めに交換して下さい。乾電池での連続使用時間の目安は5時間です。ただし、電池を入れたまま長期間放置すると液漏れするなどして故障の原因となりますので、通常AC電源で使用する場合は、受信機に電池を入れなくてください。※乾電池購入の費用は個人負担となります。

●防災無線に関する問い合わせ
役場総務課庶務係 ☎52-2111



定。消防署員が倒壊した家屋内に取り残された方がいないかの安否確認を行い、いた場合は救助活動を行います。こちらも同様に消防団が後方支援を行います。

以上が実践訓練によって確認された想定事案です。しかし、今回想定されている直下型地震での被害は「更別村防災のしおり」によると、建物の被害が全壊8棟、半壊89棟と想定されています。また、十勝平野の断層が震源だった場合は全壊148棟、半壊289棟とさらに被害が大きくなるのが予想されています。被害が大きくなった場合は、消防などの救助が間に合わない可能性があります。自主防災の考えのもと、次のページを参考にもう一度防災について考えてみてください。



7/17 更別幼稚園夏まつり



7/10 上更別幼稚園七夕まつり



子どもたちの夏祭り

7月に入り、村内両幼稚園、どんぐり保育園、上更別小学校で子どもたちが楽しみにしていた恒例の夏祭りが行われました。更別幼稚園で開催された夏祭りでは、笹の木に願い事を記した短冊を飾りお祭りがスタート。保護者が用意したお化け屋敷やゲームコーナーで子どもたちは大いに楽しみました。



7/24 上更別小学校
花火・おんどん祭り



7/24 どんぐり保育園
夕やけそうめん流し



13th International Tractor BAMBA



広がる青空
唸るエンジン
舞う砂煙

説明不要の「迫力」イベント 更別農業の元氣と魅力を発信

第13回国際トラクターBAMBA



出場メカ馬は必ず防疫のため洗浄



レースは少しのミスが致命傷に



表彰式で歓喜のシャンパンファイト

7月12日(日)、村ふるさと館周辺で『第13回国際トラクターBAMBA』が開催されました。
天候にも恵まれ、来場者は過去最多となる1万9500人を記録。来場者には関東、九州や中国地方からの方も。また、この日は32.5℃を記録する真夏日となりましたが、会場はイベントを楽しむ来場者の熱気でさらに熱さが増していました。
開会に先立ち行われたメカ馬ロードパレードでは、出場36台のメカ馬(トラクター)が商店街から会場のふるさと館までを堂々の行進。沿道に駆け付けたみなさんは歓迎の小旗を振り、御者(ドライバー)に声援を送り、御者も誇らしそうに声援に

応えていました。
レース競技では、出場した36台のメカ馬が白熱したレースを展開。1レースごとに拍手や歓声、ときにはため息なども聞こえ、大いに盛り上がりを見せました。
ほかにもぼんえい競馬のキング号との触れ合いコーナーやステージイベント、たくさんのお店などもイベントの盛り上がりに一役買っていました。

今年の冬に放映のNHKBSプレミアムドラマ用に装飾されたトラクターも出場



園児が笑顔で 周りも笑顔に

更別幼稚園運動会 & どんぐり保育園 運動あそびでつながるday

7月5日に更別幼稚園運動会、19日にどんぐり保育園運動あそびでつながるdayが行われました。小さい体で精一杯に駆け回り、ときにはお友達と力を合わせ一生懸命に取り組む園児たち。ひたむきな姿に大人たちは自然と拍手を送っていました。そんな園児たちの様子をお伝えします。

7/5 更別幼稚園運動会



ゴールを目指して一直線！



私が最初に障害物を突破よ！



君の帽子ゲットだぜ



すぐに抜いてやる



力勝負では赤組には負けないぞ



決めポーズ



力を合わせて

7/19 どんぐり保育園 運動遊びでつながるday



上手に転がせているでしょ？



ネズミのしっぽを捕まえた！



私のお鼻ここですよ



メダルもらったよ



リズムに合わせて動くのは楽しい♪



僕の魔法で悪いこと止めてやる

住民票に方書を表示します

かたがき

今後予定されている社会保険・税番号(マイナンバー)制度の導入に伴い、個人ごとの番号が記載された通知カードなど重要な書類が確実に届くよう、国では住民基本台帳への方書の整理を推進しています。村でも円滑に制度が導入できるように、**住民票に方書がない方は方書を表示することとし、**

9月1日以降、住民票の写しなどの各種証明書に表示されるようになります。対象となる方は平成24年7月9日以前に転入・転居された方です。事前に世帯主の方に通知文書を送付しますので、内容の確認をお願いします。※改めて届出をする必要はありません

【方書とは】
公営住宅やアパートなどの集合住宅の建物名、居室番号のことをいいます。(福祉施設は除きます)

【住民票における住所欄の表記例】
方書は、すでに転入・転居の際に届出された記載に基づき表示します。

(現在の住民票)

更別村字更別●線●番地●

(記載後の住民票)

更別村字更別●線●番地● ▲▲アパート■棟○○号室

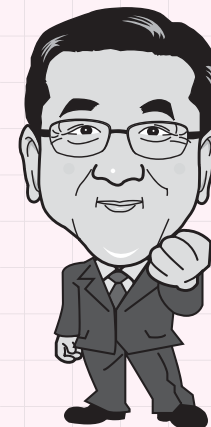
※運転免許証、年金関係書類、村が発行している保険証や医療受給者証(以下保険証など)の住所変更手続きは必要ありません。現在お使いの保険証などは有効期間の満了日まで引き続き使用できます。9月1日以降に交付や再交付を受けた保険証などには方書が表示されます。

なお引越後、役場に届出をされていない方は、届出されなければ方書の表示ができません。本人確認書類(運転免許証・保険証など)をお持ちのうえ手続きをお願いします。

問い合わせ 役場住民生活課戸籍窓口係 ☎52・2112

村長室 だより

NO.3



夏バテしていませんか？

letter from Takeshi

体力勝負？の上京奮闘記

○数十年ぶりの通勤ラッシュの洗礼
6月25日(木)早朝、東京品川駅で通勤ラッシュに巻き込まれ、三順目の山手線に、やつとの思いで乗車し、有楽町で慌てて地下鉄に乗り換えて霞ヶ関駅へ。
農水省へ着いたのが集合時間の3分前、なんと十勝中央要請団のみなさんと合流することができました。気がつくとき全身汗びっしょり。数十年ぶりの満員電車の洗礼に、本当に参っていました。

今回は、北海道横断自動車道十勝地区早期建設促進期成会、高規格幹線道路帯広・広尾自動車道早期建設促進期成会の一員として「十勝の高規格幹線道路ネットワーク早期形成に関する要望」特に帯広・広尾自動車道大樹・広尾間、足寄・陸別間における早期事業の着手を国会議員のみなさんや関係省庁へお願いしてきました。
「十勝・南十勝はひとつの合言葉のもと、米沢帯広市長、高橋本別町長、十勝南部の町村長、関係町村の

～子どもからお年寄りまで 笑顔と笑い声があふれ、 一人ひとりが輝く村～

○貴重な中央要請
今後の村政に！
今回も相当数の名刺を用意しましたが、ほとんど空っぽになっていました。
文科省以外は初めての訪問でしたが、たくさんの方にお会いでき、とても勉強になりました。一日も早く今回の成果が出ることを願っています。
まさに体力勝負の中央要請でしたが、得るものも大きく貴重な体験をさせていただきました。この経験をぜひ、今後の村政に活かしてまいります。

○いざ国土交通省・財務省・衆参議員会館へ
最初に農林水産省で中川政務官に面会し、すぐに国土交通省へ移動。北海道局澤田局長、官房審議官や地域課長ら4名の方に要望書を渡し陳情し、そこから財務省へ赴き、香川事務次官と会談をしました。
午後は再び国交省へ。国道課長や防災課長を皮切りに1階から4階まで関係各課を駆け足で回り、13時30分より国交省の西村副大臣と会談し、引き続き深澤道路局長とも会談し、陳情を行いました。次にタクシーで衆議院第一議員会館へ。北海道出身の国会議員へ挨拶に回り、参議院会館へも足を運びました。時間短縮のため階段を移動したため後半はバテ気味でした。
16時に衆議院議員二階俊博氏と会談し、大樹町の酒森町長さんと一緒に空港へ。無事、中央要請の全日程終了となりました。

副村長・議会議長・商工会長を含む15名のみなさんが参加されました。

更別の小中学生全道大会へ

全十勝中体連夏季大会のソフトテニス競技で3位に入賞した3年生の齋藤瑠花さんと鈴木怜さん、同じく柔道競技で優勝した2年生の安村華琳さん、全十勝小

仲間の思いも胸に

全道大会の出場は冬のインドア大会に続いて2回目となる齋藤瑠花・鈴木怜ペア。仲間のペアが全十勝中体連夏季大会で、全道大会まであと1ポイントというところで出場を逃したことで「みんなの思いを背負って戦ってきます。3年間の集大成としての大会になるので、先生から教わったことを発揮できるように頑張ります」と意気込みを語っていました。



写真右から松本教諭、鈴木怜さん、齋藤瑠花さん

一つでも多く勝利を



写真右から新倉教頭、笹原教諭、安村華琳さん

十勝大会では相手を寄せ付けずに優勝し、十勝チャンピオンとして挑む全道大会。順調に1回戦を勝つと強敵との対戦が待っており、安村さんは「前回の対戦では負けてしまいました。が、今回は一矢報いることができるように、大会までは短い期間しかありませんが、しっかりと準備をして良い結果を出せるようにしたいです」と抱負を語ってくれました。

ミスをせずに全力で

初めての全道大会に挑むという本間さんと本多さん。今回は5年生以下のダブルスの競技に出場します。本間さんは「ミスを減らして悔いのない試合をします。本間さんは「ミスを減らして悔いのない試合をします。本間さんは「ミスを減らして悔いのない試合をします。本間さんは「ミスを減らして悔いのない試合をします。」とそれぞれ意気込みを語り「全道大会までの1カ月まだまだ上手くなるように練習します」とも話していました。



写真右から村瀬監督、本間有莉さん、本多永莉佳さん

商工会青年部がまちおこし事業開始！

自分たちで知恵を出し合い考えたレンタサイクル事業の実証実験スタート



自転車を使って地域活性化！

農村公園を訪れた方に村の魅力を紹介し、村内を自転車ですらってもらうことで活性化につなげようと、商工会青年部が主体となり自転車の貸し出し事業を開始しました。事業のきっかけは、連日たくさんの方が訪れている農村公園大型遊具の開通。山内正裕部長は「来村者に更別をもっと知ってもらおうという思いで企画しました。おすすめ店舗や観光コースを掲載したオリジナルマップも配布するので、周遊してもらうことで活性化につながれば」と、この事業への期待を話してくれました。第1回目の貸し出しに先立ち7月21日に行われた出発式

事業について

日時：毎週土曜日・日曜日
10時00分から16時00分
(受付は15時00分まで)
期間：7月25日から10月4日
(雨天時や商工会青年部が事業などでない場合は中止)
貸出場所：農村公園大型遊具
台数：大人用6台 子ども用4台

で、西山村長は「村内の若者が率先して活性化の企画を考えていただきとてもうれしい。みなさんの力を借りて、みなで更別を活性化させていきたいと思います」と述べました。

お試し暮らし短期体験住宅へも自転車も2台寄付
また、今年から体験住宅の滞在期間を長期化したことを受けて、あわせてお試し暮らし短期体験住宅へも自転車も2台寄付いただきました。こちら「滞在に訪れた方が、気軽に商店街をはじめ各商店や公共施設に足を運んでもらうことで、村の魅力をたくさん感じてほしい」という商工会青年部のみなさんの思いを込めた自転車2台の寄付となりました。

経営移譲をお考えのみなさん 早めに農業委員会へ相談を

経営移譲年金(農業者年金)の受給対象となるには、65歳に達する前までに経営移譲を行わなければなりません。

農業経営を後継者や第三者へ移譲するときには、農地を処分しなければなりません。農地を処分するには農地法の許可や、借入れしている農地の解約などが必要で時間を要します。

新しい経営主へのスムーズな経営移譲を行い、自身の経営移譲年金の受給対象資格を得るためにも、お早めに農業委員会へご相談ください。

●問い合わせ
農業委員会事務局 ☎52-2116

9月1日(火) 開村記念日は 福祉の里温泉を無料開放します

開村記念日にあたる9月1日(火)に、福祉の里温泉を無料開放します。

みなさんのお越しをお待ちしています。

- 対象
村内外のどなたでも無料で入浴できます。
- 開館時間
13時00分～22時00分
※21時00分までに受付を済ませてください。
- 受付
受付名簿の年齢区分に○を記入してください。
※タオルの購入は通常どおり有料です。
- 問い合わせ
役場保健福祉課福祉係 ☎53-3000

更別村移住・定住対策事業

お試し暮らしを経験した方に感想をお聞きしました

氏名：石原 孝さん、マサミさんご夫妻
お住まい：茨城県日立市
利用期間：6月1日～30日



妻と2人、短期体験住宅に入居したのは6月1日でしたが、あっという間に1カ月が過ぎてしまいました。

林の中の評判のレストランは予約ができずに残念！畑の中の赤い家のカフェは2回お邪魔しました。ピッツァ・マルゲリータが大好きでした。とりせいさんでの大将との語らいが楽しかったことや焼き鳥がウマかったことなどが良い思い出です。

天気の良い日は、妻と2人でブルムカントリーでパークゴルフをしました。緑輝く広大な敷地を歩く爽快さは何ものにも代えがたく、プレーした日は数日にとどまりません。そんなある日、元気な奥様に声をかけていただき、一緒にプレーをさせていただきましたが、その鮮やかなプレーに感服しました。聞けば年齢が80を過ぎていたとかなあやかりたいものです。

とても楽しい1カ月を過ごしました。また機会があれば訪れたいと思います。

氏名：伊東 晴代さん
お住まい：愛知県あま市
利用期間：7月22日～8月23日



北海道の広さと夏の涼しさに憧れて愛知県からお試し暮らしにやってきました。北海道の中でも降雪の少なさから十勝地方に移住の場を探しています。更別村では、以前入った温泉がきっかけで1カ月間体験するチャンスをいただきました。

定年退職した私にとっては、役場の担当の方からの福祉や医療の充実しているという更別村の説明を聞きとても興味を持ちました。また、商店街などお店の紹介は日常生活に欠かせないので、現地案内を含め詳しく説明していただき助かりました。

教えていただいたことと「どんぐり商品券」をもとに、村内施設や多くの商店を積極的に訪れ活用させていただきます。そして、地元の方との交流を深めたいと楽しみにしてきました。

●問い合わせ
役場企画政策課地域開発係 ☎52-2114

現在も利用中の方です

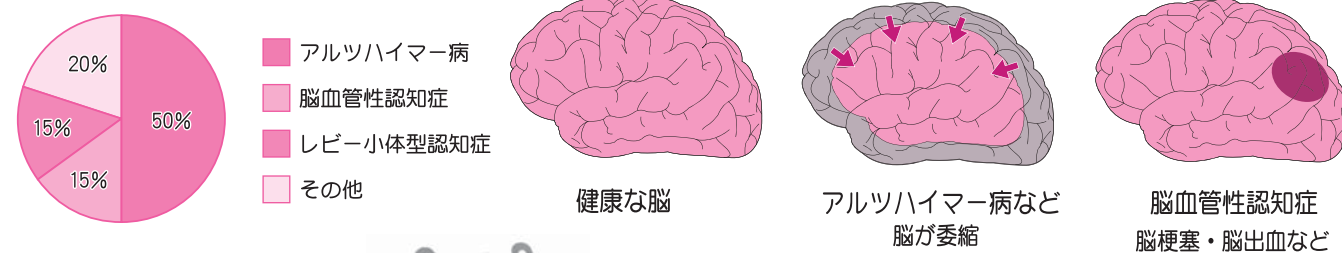
認知症について

認知症は65歳以上では7人に1人、85歳以上では4人に1人の割合で発症するといわれています。高齢化の進展に伴いさらに増加が見込まれており、団塊の世代が75歳以上になる2025年には、65歳以上の高齢者のおよそ5人に1人が認知症を発症するといわれています。

●「認知症」とは？

さまざまな原因で脳の細胞が死ぬ、または働きが悪くなることによって、**記憶・判断力の障害が起こり生活(社会生活・対人関係)に支障が出ている状態**をいいます。

●認知症を引き起こす主な病気



認知症の主な症状

記憶障害

- ◎同じことを何度も言う、聞く
- ◎数分前にしていたことが思い出せない

理解・判断力の低下

- ◎新しいことが覚えられない
- ◎考えるスピードが遅くなる

実行機能障害

- ◎ものごとの段取りが立てられない(料理ができなくなる…など)

見当識障害

- ◎日にちや時間がわからなくなる
- ◎家族の顔がわからなくなる

●認知症は予防・早期発見・早期治療が大事

認知症も他の病気と同じように、**予防・早期発見・早期治療**は大切なことです。青年期や壮年期の運動不足・塩分の摂り過ぎ・喫煙などが認知症と深く関わっているため、若いときから生活習慣病予防が大切です。**脳を鍛えるトレーニングも効果的**です。

認知症の症状が軽い段階で受診をすれば、進行を遅らせたり、場合によっては症状を改善することができます。自分自身や家族、友人など周りの人について「もしかしたら…」と思われる症状に気づいたら、かかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう。

地域包括支援センターでは月1回認知症予防を目的とした、文字カードや読み書き脳トレ、右脳と左脳を使ったゲーム、生活習慣予防のための食事と栄養の講座を開催しています。

【今後の開催予定】

日 程：8月11日、9月8日、10月13日、11月17日
時 間：10時30分～11時30分
場 所：老人保健福祉センター 集会室

●問い合わせ・講座申し込み
役場保健福祉課相談支援係
(福祉の里総合センター) ☎53-3000

全日本ママチャリ 12時間耐久レース

7月25日の24時から、十勝スปีドウェイで全日本ママチャリ12時間耐久レースが開催され、道内を中心に全国各地から参加した169チーム約1600人が、1周3.4キロのコースで選手交代を繰り返しながら力走しました。

今年で18回目の開催となり、「12時間耐久レース」は昨年復活し2年連続の開催。開始時刻の24時には多くの人々がピットから仲間を見守る中、西山村長の開会宣言でレース開始。ライダーたちは暗闇の中を駆け抜けていきました。スタート前から雨が降り続く厳しいコンディションでしたが、ゴールするときには雨も止み、多くのチームがゴールテープを切りました。

また、今年から創設され、6時からスタートし12時までの6時間耐久で争うジュニアクラスで、更別中央中学校3年生が出場した「3Aママチャリプロジェクト」が見事優勝に輝きました。



表彰台の1番上に立つ「3Aママチャリプロジェクト」7人のメンバー



7:10



朝ご飯はジギスカン！？「だって、まだまだ漕ぐんだからお肉を食べて体力つけないと」

23:45



スタート前にチーム全員で円陣を組んで結束力をさらに高める。「12時間完走するぞ！！」

12:00



12時間走り切りついにゴールの瞬間。チームメイトに向かって「やったぞー！！」

9:15



最終コーナーを曲がるとそこには最後の難関上り坂。ただひたすらに漕ぐしかない…



村生活安全推進協議会は、夏の交通安全運動期間に合わせ市街地世帯を対象とした「交通安全呼びかけ訪問キャラバン」を実施しました。

平成25年に発生した2件の交通事故死亡事故をうけ、昨年からの実施。平成35年までに、市街地世帯全戸を訪問する予定です。今年度対象地区の曙町には、協議会役員、会員団体、事務局がスピードダウン、シートベルト着用などを促すチラシやポケットティッシュ、啓発物品を配布しました。受け取った住民の方からは「高規格道路の延伸で交通量が減っています。が、油断はせずに事故に遭わないように気をつけます」という声が聞かれました。

7/13
~
17

交通安全を
呼びかけ

商工会青年部が主催するビアガーデンが役場駐車場で開催され、老若男女世代を問わず大勢の方が夏の夜を楽しみました。

今年からよりたくさんの方に楽しんでもらおうと、お得な前売り券を発売。その効果もあってか、多くの村民の方が冷たいビールやジュース、焼きだてのフランクフルトや焼き鳥などを買い求めました。また、自転車などの豪華景品が当たる抽選会も行われ、会場を盛り上げました。

青年部長の山内正裕さんは「たくさんの方に来て、楽しんでいただけて私たちも幸せです。これから更別の夏の夜を若い力で盛り上げていきたいです」と話してくれました。

7/24 ビアガーデン大盛況



7/21 JICA研修生が村内を視察



帯広のJICA北海道で学ぶ9カ国10名の研修生が村を訪れ、建設副産物の再利用について学びました。

視察に訪れたのは、農業基盤整備について学ぶコースを受講している方々。研修生は、㈱ディー・ワイの大規模発電施設や建設副産物の処理場などを見学し、行く先々で説明者の山内優也専務に熱心に質問をするなど、有意義な時間を過ごしたようです。

ミヤンマーから来ているゾウさんは「私の国ではここまで大規模なリサイクル事業は難しいですが、環境保護の観点から少しずつこの取り組みを広めていきたい」と話してくれました。



シルバーハウジング団らん室前の広場で、入居者が企画する毎年恒例の流しそうめんが行われ、参加者のみなさんは夏の風物詩を楽しみました。

この事業は入居者の方の自主事業の一環。買い出しから調理、流し台のセッティングも入居者のみなさんで用意しました。この日は関係機関や町内会の方などを招く地域開放事業として行われ、小学生から大人まで参加しました。流されたのはそうめんだけではなく、ラーメンや入居者の方が育てたトマトや、自分たちで漬けたキュウリも。参加した方は「お腹いっぱいごちそうになりました。夏野菜もたくさん食べられました。何より世代の違う方と交流できて楽しむことができました」と話していました。

7/29

暑い夏は
流しそうめん



更別農業高校の全校生徒が、夏季奉仕活動として市街地の清掃活動を行いました。

生活科学科の生徒は、村シルバーハウジングの清掃活動を実施。入居者の方とともに窓拭きや、天井の清掃などを行いました。入居者の方は「高校生が来るって活気があって私たちも元気をもらえます。一緒に清掃できて楽しかった」と、話していました。

この活動は、夏季と秋季の2回、更別村を大切に思う気持ちや、集団活動を通して、主体的に活動する力や社会性を育むことを目的に、毎年取り組んでいます。

7/3

更高生が
地域貢献



学級生が楽しみにしていた今年の修学旅行は、千歳市や苫小牧市などの道央を42名で訪れました。

初日は千歳市や苫小牧市で工場や博物館を見学し北湯沢温泉へ。二日目は羊蹄山周辺を通過し仁木町へ。仁木町では、観光農園で昼食にさくらんぼカレーを食べ、食後のデザートとしてサクランボ狩りを実施。みなさんカレーでお腹が満たされているにもかかわらず、甘くておいしいサクランボをほおぼっていました。

三日目は小樽市や札幌市で工場や展望台などを見学し帰路へ。

三日間天候にも恵まれ、多くのお土産と思い出でかばんも胸もいっぱいになったバス旅行となりました。

7/14 更高で出前授業を開催

更別農業高校で、情報化の進展による働き方の変化について学ぶことなどを目的に、北海道教育委員の田澤由利氏を招いて、出前授業を実施しました。

授業のテーマは「インターネットで働き方が変わる！ICTと農業について学ぼう」。インターネット上に会社を立ち上げ、離れた場所でも勤務することができるテレワークという働き方について学び、実際に千葉県と北見市で働いている方とテレビ電話をつなぎ、教室にしながら会社訪問を行いました。

授業を受けた生徒は「こんな働き方があるなんて知らなかった。進路の参考にしたい」と話していました。

7/8
~
10 末広学級生 修学旅行で道央へ



社会福祉センターで戦没者追悼式が執り行われ、ご遺族や来賓など49名が出席しました。

追悼式執行委員長の西山村長が「英霊の願う郷土更別の更なる飛躍にいつその努力を誓うとともに、悲しみに満ちた歴史を再び繰り返さない決意を新たにいたします」と式辞を述べました。来賓の方々の追悼の言葉に続き、参列されたみなさんが白菊を祭壇に捧げました。

式終了後、更別神社境内の殉公碑前に会場を移し村遺族会（穴戸功治会長）主催による戦没者慰霊祭が行われ、戦没者の在りし日を思い浮かべ、ご冥福を祈るとともに恒久平和への誓いを新たにしました。

7/15

平和な世の中を
御霊に誓う



お知らせ

鳥獣被害に対する 一斉駆除にご協力を

近年、村内の鳥獣被害は増加傾向にあり、昨年度は約2000万円の被害が報告されています。

村では鳥獣被害軽減を目的に、鳥獣駆除実施隊による銃器を使用した一斉駆除を行っています。銃声によりご迷惑をおかけすることもあります。駆除を行う場所及び近隣の行政区長を通じての連絡や、周辺で作業中の方への声掛けなど、安全な実施に最大限の配慮をしていますので、みなさまのご理解ご協力をお願いします。

●問い合わせ
役場産業課林務係 ☎52－2115

「うまれる」を上映します

妊娠や出産、育児をテーマに、命の尊さや家族の絆、人とのつながりなどを考えるドキュメンタリー映画「うまれる」を上映します。入場料などの詳細についてはお問い合わせください。

●日 時
① 8月21日(金) 19時00分～21時00分
② 8月22日(土) 10時00分～12時00分
※開場はともに30分前

●場 所
老人保健福祉センター
●後 援
更別村 更別村教育委員会
更別村商工会 更別村社会福祉協議会
社会福祉法人どんぐり福祉会
●主催・問い合わせ
さらべつほーぷ
早坂靖代 ☎090－6448－1787
野々村和章 職場 ☎53－3500

「空の日」記念 航空まつりを開催します

子どもから大人まで楽しめる「航空まつり2015」を開催します。スポーツ

カイト演舞や消防車・道警ヘリのデモンストレーション、味覚と地場産品のコーナーなど盛りだくさんの内容です。

また、小学校3年生から中学生までを対象にした管制塔・気象施設の見学会や小学生以下の親子を対象にした航空教室なども実施します。参加には事前申込が必要になりますので、往復はがきに参加希望のイベントを記載し、住所、氏名、年齢(学年)、連絡先を記入の上、8月22日までに実行委員会まで申し込みください。ただし、申し込み多数の場合は抽せんとしていただきますのでご了承ください。

●日 時
9月13日(日) 10時00分～15時00分
●場 所
帯広市泉町西8線中8－41
とかち帯広空港
●問い合わせ
空の日実行委員会(帯広空港事務所内) ☎64－5320

戦後海外から引き揚げて 来られたみなさんへ

税関では戦後、海外から引き揚げて来られた方からお預かりしている通貨や証券などの保管証券類をお返ししています。返還の請求は本人だけではなく、家族の方でも構いません。お気軽にお問い合わせください。

●問い合わせ
函館税関釧路税関支署十勝出張所 ☎(01558) 2－04061

借金・金融一般相談会を 開催します

北海道財務局では、専門の相談員が借金の悩みを親身になってお聴きし、あなたにあった解決方法を提案します。また、預金・融資、保険など金融全般のご相談も受け付けます。いずれの相談も予約不要で無料です。

●日 時
8月28日(金) 9時00分～14時00分
●場 所
帯広市西5条南6丁目

帯広財務事務所2階
●問い合わせ
北海道財務局 ☎(011)807－514

帯広地区矯正展の 開催について

帯広刑務所では、法務省が主唱する「社会を明るくする運動」の一環として、刑事施設の社会的役割について、広く一般の方々にご理解いただくことを目的に、帯広刑務所矯正展を開催します。帯広刑務所で収穫した生鮮野菜の格安販売や、全国の刑務所作業製品を多数そろえています。そのほかにも、施設見学や催し物を企画していますのでご来場ください。

●日 時
9月13日(日) 9時00分～15時00分
●場 所
帯広市別府町南13線33番地
帯広刑務所
●問い合わせ
帯広刑務所企画部門 ☎48－7998

入校前適正相談の 実施について

国立北海道障害者職業能力開発校では、休職中の障がい者(応募希望者)の入校前適性相談を実施します。

実施期間は平成28年3月11日(金)までです。詳しくは当校へお問い合わせください。

●問い合わせ
国立北海道障害者職業能力開発校 ☎(0125)52－2774

ご存知ですか？ 筆界特定制度

筆界特定制度は、土地が登記されたときにその土地の範囲を区画した線(一般的に境界)について、現地でその位置を特定する制度です。

隣接する土地との境界について、その位置の認識が互いに違い困っているなど、事案によっては筆界特定制度を利用して解決できるかもしれません。詳しくは最寄の法務局までお問い合わせ

してください。

●問い合わせ
釧路地方法務局帯広支局 ☎24－5837

協会けんぽからのお知らせ

北海道は全国的にみて、喫煙率が高い地域であることをご存知でしょうか？男性は全国3位、女性は全国1位となっており、特に女性の喫煙率が高い結果が出ています。

協会けんぽ北海道支部では、喫煙対策を通じて加入者みなさまの健康を守るさまざまな取り組みを行っています。ホームページでは、禁煙啓発動画や禁煙講座の案内をしていますので、一度ご覧ください。

●ホームページ
https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/hokkaido
●問い合わせ
全国健康保険協会北海道支部 ☎(011)726－0352

電話での人権相談を 活用ください

法務省の人権擁護機関では、法務局職員や人権擁護委員が女性や子どもの人権相談などさまざまな人権に関する相談について電話や面接での相談に応じています。

人権に関する困りごとは、なんでも気軽にご相談ください。

●みんなの人権110番 ☎(0570)－003－110
●子どもの人権110番 ☎(0120)－007－110
●女性の人権ホットライン ☎(0570)－070－810
●問い合わせ
釧路地方法務局人権擁護課 ☎(0154)31－5014

加湿器の回収に ご協力ください

T D K株式会社では、火災事故に至るおそれのある加湿器を回収していま

す。平成25年に発生した重大製品事故以降回収作業を行ってきましたが、いまだに回収しきれていません。押し入れや物置、倉庫から見つかる場合が多数ありますので、ご確認ください。

●対象機種
平成5年度 K S－31W
K S－32G
平成10年度 K S－500H
K S－300W
●問い合わせ
T D K株式会社加湿器お客様係 ☎(0120)604－777

募集

自衛官を募集します

募集種目	募集期間	試 験 日	
防衛大学校 学生	9月5日 ～9日	推 薦	9月26日 27日
		総 合 選 抜	1次 9月26日 2次 10月31日 11月1日
	9月5日 ～30日	一 般 (前期)	1次 11月7日 8日 2次 12月8日 ～12日
防衛医科大学校 医学科学生	平成28年 1月20日 ～29日	一 般 (後期)	1次 平成28年2月20日 2次 平成28年3月11日
	9月5日 ～30日		1次 10月31日 11月1日 2次 12月16日 ～18日
防衛医科大学校 看護学科学生 (自衛官候補看護学生)			1次 10月17日 2次 11月28日 29日

●問い合わせ
帯広市西5条南14丁目13N Cサウスビル
自衛隊帯広募集案内所 ☎23－8718

北海道警察官採用試験を 実施します

平成27年度第2回の北海道警察官採用試験を実施します。申し込みや詳細については問い合わせください。

●試験区分
男性・女性A区分(大学卒)
男性・女性B区分(大学卒以外)
●試験日

9月20日(日)
●受付締切
8月26日(水)
●問い合わせ
帯広警察署警務課(宮崎・光永) ☎25－0110

国民年金

国民年金保険料の割引制度を 利用しませんか？

国民年金保険料をまとめて前払い(前納)すると保険料が割引される制度があります。また、口座振替で前払いすると、さらに割引額が大きくなります。保険料の払い忘れは、将来もらえる老齢基礎年金の減額に加え、いざというときに障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられなくなる場合があります。

支払いに時間のとれない方や納め忘れが心配な方、お得に保険料を納めたいという方はぜひご利用ください。

※口座振替の申し込みは預貯金口座をお持ちの金融機関またはお近くの年金事務所(郵送も可)で受け付けています。申し込みには必要事項(基礎年金番号など)の記入と金融機関の届出印が必要です。

※申し込みや引き落としには手数料は一切かかりません。

●問い合わせ
帯広年金事務所 ☎25－8113

税

村・道民税第2期、国民健康保険税 第2期納期限は8月31日(月)

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

●問い合わせ
役場住民生活課住民税係 ☎52－2112

更別村文化賞・スポーツ賞 候補者の募集について

教育委員会では、みなさんから推薦のあった個人や団体へ文化・スポーツ賞などを贈り、功績を讃えています。みなさんからの推薦をお待ちしています。

■表彰内容

◆文化・スポーツ賞

文化・スポーツの向上発展に、特に功績が顕著であると認められる個人や団体

◆文化・スポーツ奨励賞

各種団体の育成普及推進に寄与した方や大会などで成績が優秀と認められる個人や団体

■受賞候補者の推薦

9月18日(金)までに教育委員会事務局へ『文化賞・スポーツ賞等候補者推薦書』を提出してください。※推薦書は同事務局で配布しています。



昨年度受賞式の様子

■問い合わせ

教育委員会事務局社会教育係 ☎52-3171

農村公園大型遊具広場の利用について

《安心・安全にご利用いただくためのお願い》

昨年秋、農村公園にオープンした大型遊具広場。今年に入り週末はもちろん、平日にも遠足などで村外から多くの方にご利用いただいています。

十勝管内でも最大級の大型遊具などが30種類以上あり、子どもから大人まで幅広く楽しんでいただくことができますが、利用にあたっては公園内に掲示している注意事項を遵守

していただき、危険な遊び方をしたり、ゴミを放置したりせず、みなさんが気持ちよく利用できるようご協力をお願いします。



■問い合わせ

教育委員会事務局社会教育係 ☎52-3171

更別農業高校 ニュース

学校祭を終えて

生徒会長
生活科学科3年 菅 綾華
7月18日、19日の2日間にわたって開催された更農祭。今年度のテーマは「Smile Summer」笑顔あふれる夏にする〜でした。

1日目は体育祭。昨年度とは違った競技を取り入れ、初めての試みも多く大変でした。準備で手間取ってしまい、リハーサルなしで当日の運営を行ったため、時間通りに進むのか、トラブルが起らないかと不安ばかりでしたが、予定時間よりも早く無事体育祭を終えることができました。2日目の一般公開では、ステージ企画やクラスパフォーマンス、バザーなどが行われ、オープニングとクロージングのバンド演奏では予想以上の盛り上がりになりました。

この更農祭の企画・運営を通して感じたことは、協力してくれる人がいることのありがたさです。特に今年度は生徒の意見を集約した新しい企画を数多く実施した学校祭だったため、実現にむけて本当にたくさんの方々の協力をいただきました。そのおかげで更農祭を無事



終えることができたと思います。そして、ありがたみを感じるとともに、何か新しい企画を立てる際には明確な理由のもと、早め早めの行動が大切だと身をもって学びました。先生ばかりに頼るのではなく、行動を先読みして物事を進めていくことがスムーズな運営につながる大切なことだと実感しました。今年度は生徒会役員や実行委員などが一丸となって更農祭を作り上げ、全校生徒が盛り上げてくれました。思い返すと大変なこともたくさんありましたが、本当に充実した更農祭となりました。

更別村 地域おこし協力隊 がゆく

地域おこし協力隊メンバー



亀井 秀樹隊員 西島 志芳隊員 稗田 千穂隊員

今日のミッション

謎の声の正体は？



ということで、今回の任務を遂行するのは稗田隊員！



の主を見つけられないまま今に至りますが、実はその主はキジバトという鳥のようです。

キジバトは、別名ヤマバトとも呼ばれており、全長が33cmほどで、茶褐色から紫灰色で翼にうろこ状の模様があるのが特徴。また頸部側面に青と白の横縞模様があるとのこと。都市部でも見られるらしいですが、警戒心がとても強いといえます(なるほど…カラスほどの大きさがありながら見つけられなかったのはその警戒心の強さからだったのか！)

村内でも聞かれるこのキジバトの声、先日ふさと館でも聞くことができました。十勝管内では珍しい人工芝の体育館やさまざまなスポーツ、お祭りなどにも利用されているふさと館ですが、周りを見渡せば草木も多く、鳥の声がよく聞こえます。散歩やバードウォッチング、夏休みの自由研究などでふさと館に足を運んで、この警戒心が強いと言われるキジバトを探してみたいはいかがでしょうか。



森林に潜む？声の主

「ホーホーホッホー」暖かくなると、どこからともなく聞こえてくる変な声。どこから聞こえてくるのか、どんな動物の声なのか、幼いころからその声の主を見つけようと近くまで行ってみますが、気配を感じてか身をひそめ大人しくなります。諦めてその場を立ち去ろうとするとまた聞こえる声。結局、声

7/2
10

3 3 2 優
位 位 位 勝
R S 矢 T
S 島 B
B 食
S C 堂 C

● ● B ● ● A
準 優 ク 準 優 ク
勝 勝 ス 勝 勝 ス
曙 中 錦 勢
町 町 央 雄
町 町 区 A

7/7

行政区対抗 パークゴルフ大会

3 3 2 優
位 位 位 勝
教 東 北 旭
員 区 区 区

6/25
7/8

行政区対抗ソフト ボール選手権大会

● ● ● ●
4 3 2 優
位 位 位 勝
農 R T 矢
協 S C 島
員 員 食
員 員 堂

5/26
6/30

更別あさ野球大会

Sports

農村環境改善センター 今月の図書室 おすすめ本

秘伝「書く」技術

夢枕 獯／著



くさい食べもの大全

小泉 武雄／著



10歳若返る姿勢バイブル

中村 格子／著



戸籍の窓口

希望者のみ掲載

誕生おめでとう

よこやま ゆりちゃん
横山 優里ちゃん
有也・恵子(曙町)

お悔やみ申し上げます

川上 明 男さん 73歳
(更別区)

人のうごき

■人口

3,297人(－6人)【内外国人8人】
男1,638人(－2人)

【内外国人5人】

女1,659人(－4人)

【内外国人3人】

■世帯数

1,300世帯(－2)

【内外国人3世帯】

※7月1日現在。()内は前月比。

地域安全ニュース

■更別村の交通事故死ゼロ記録
761日(7月31日現在)

■地域安全運動のお知らせ

『夏休みやお盆に旅行する方へ』

長距離運転をするときは「出発前に渋滞情報の確認」、「2時間に1回の休憩」、「スピードの出すぎ、無理な追い越しはしない」などに注意し楽しい旅行にしましょう。

また、帰省中に親戚の集まりや同窓会で飲酒した場合は、絶対に運転してはいけません！！



笹田

千尋

平成26年8月3日生
曙町

ご飯が大好きな千尋。モリモリ食べてたくさん遊んですくすく大きくな～れ！いつも癒しをありがとう。

潤・まどか



宮本

麻衣

平成26年8月30日生
勢雄区

いつもニコニコ笑顔で、周りのみんなを楽しませてくれる麻衣の成長を頼もしく思っています。これからもいっぱい食べて、いっぱい遊んで大きくなってね。

納都喜・智子



塩田

碧くん

平成26年8月28日生
曙町

いつも元気でたくさん笑う碧。これからもパパとママを笑わせてね。いっぱい食べていっぱい遊んで大きくなあれ！

俊輔・美幸

広報さらべつ 8月号
Public Relations Sarabetsu 2015 vol.635

平成27年8月10日発行 (vol.635)

更別村役場 住民生活課

〒089-1595

北海道河西郡更別村字更別

南1線93番地

☎0155(52)2111(代表) ☎0155(52)2812

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/>

Eメール(代表) village-office@sarabetsu.jp



防災合同実践訓練で横転した車から負傷者を救助する一幕。消防士の機敏な動きから、村民の命を守る使命感を感じました。また、当日は来賓や協力団体として参加していた住民の方で、バケツリレーの訓練も実施。参加した方は「初めてでしたが思ったより疲れますね」と話していました。

表紙の風景